「学生大使」派遣プログラムにチャレンジしよう（学際）
基盤教育科目・前期集中講義 【募集要項】

１．目的

本学のサテライトオフィスのあるベトナム，中国，インドネシア，ケニア，ラトビア，モンゴルの各大学に一定期間，「学生大使」として赴き，日本語を教えながら日本文化を紹介すると同時に，相手国文化・実情を学びつつ，現地学生との交流を通して「グローバル人材」に必要な能力を習得する。

２．プログラムの到達目標

①多様な価値判断基準に直に触れることにより，自身をより高い視点から俯瞰できるようになる。
②異文化コミュニケーション能力を向上させることができる。

３．開講学年と受講条件

（１）全学年
（学生便覧，在籍する学部学科（コース）の学生便覧履修心得等，ガイダンス等をよく確認の上申請すること）
（２）オリエンテーションを含め，全１５回の講義すべてに出席できること。
（３）現地実習中，健康面を含めた必要な自己管理ができること。

４．派遣先大学と支援内容

渡航補助金として，下記金額を派遣学生へ支給する。
また，本事業は，日本学生支援機構からの支援を受けていることから，渡航補助金は帰国後必要書類の受領を確認し，支給する。

派遣先大学	支援内容
延辺大学（中国）	渡航補助金　　６万円
ベトナム国家農業大学（ベトナム）	渡航補助金　　７万円
ガジャマダ大学（インドネシア）	渡航補助金　　７万円
~~ジョモケニヤッタ農工大学（ケニア）~~	~~渡航補助金　　９万円~~
ラトビア大学（ラトビア）	渡航補助金　１０万円
新モンゴル学園（モンゴル）	渡航補助金　　７万円

宿泊先及び現地空港からの送迎は，山形大学において手配し，費用は各自が現地で支払う。

※ジョモケニヤッタ農工大学（ケニア）については，外務省海外安全ホームページにて，「警戒レベル２」と指定されているため，前期のプログラムは中止とする。

５．講義スケジュール（山形大学海外拠点校の状況を踏まえて調整中。確定しましたら、山形大学ホームページ及び各学部を通してお知らせします。）

	月日	時間	内容
オリエンテーション	7 月初旬 （調整中）	１６：３０～ １８：３０	渡航前オリエンテーション
第１回	8 月 8 日前後 （調整中）	９：００～ １０：３０	オリエンテーション，現地日本語クラス事情
第２回		１０：４０～ １２：３０	「学生大使」としての講義 危機管理対応・事務連絡等
第３回～１３回	８月２０日（月）～９月中旬（予定）「現地実習」 ＊実習期間は，上記期間の内２週間～１か月程度とし，教育・学生支援部国際交流課おいて，派遣学生の希望を勘案の上，調整する場合がある。		
第１４回	９月中旬～下旬 （調整中）	９：００～ １０：３０	帰国後の報告会（事前に作成した計画書に基づいた報告）
第１５回		１０：４０～ １２：３０	総括講義 事務連絡

６．申請方法と期限

別紙様式１「申請書」に必要事項を記入の上，最新の「成績確認表」と共に教育・学生支援部国際交流課へメール又は持参により，以下の期限までに提出すること。

平成３０年６月１５日（金）１７：００

※1 年次については，成績確認表は不要。

７．派遣者の選考について

「申請書」及び「成績確認表」による書類審査を行う。

①グローバル社会をより深く理解する意欲のある者

②諸外国の大学生，職員等と積極的に交流を図る意欲のある者

おって審査後，各自へ結果を通知する。

※書類審査の結果を踏まえ，必要に応じて面接を行う場合がある。

８．成績評価

【基準】

（１）「学生大使」としてのフィールドワークをやり遂げることが合格の最低基準。

（２）その上で，異文化を理解し，外国人と日常的なコミュニケーションを図ることができれば，合格基準をクリアしたと評価する。

【方法】

「学生大使」としての参加態度，帰国後の報告会やディスカッション，レポート等で総合的に評価する。

現地実習については，本学サテライト教員，あるいは現地大学の国際交流担当教員の協力により評価する。

（１）学生大使としての現地実習・・・６０点

（２）レポート（山形大学海外派遣プログラム実施報告書）・・・３０点

＊このレポートは山形大学ホームページにて掲載する予定である。
「山形大学生海外派遣プログラム実施報告書」記載事項
①氏名・所属・学年
②派遣先大学・派遣期間
③日本語教室での活動内容
④本プログラム４つの目的についての成果
⑤プログラムに参加した感想
⑥今後の展望

（３）報告会におけるプレゼンテーションやディスカッション・・・１０点

【単位数】
２単位とする。ただし，平成３０年度９月期の進級及び卒業評価対象単位とはならないため，注意すること。

９．渡航準備について

下記について，各自で準備するものとする。

（１）パスポート・ビザ
パスポートについては，各国ごとに必要有効残存期間が異なるので，必ず事前に確認し，必要な準備をすること。
滞在日数により，ビザが必要な場合があるので，派遣希望国の情報をよく確認し，必要な準備をすること。ビザの申請には時間を要するため，派遣決定後速やかに準備をすること。

（２）航空券
派遣決定通知に記載された派遣期間に合わせ，各自で手配すること。現地到着時間は原則平日午前７時～午後５時頃までとし，夜遅い時間の到着は認めない。ただし、航空経路の都合上，夜遅い時間に到着せざるを得ない場合は、随時、国際交流課に相談すること。
奨学金支給に際し，Ｅチケットの写しや領収書原本が必要となるため，手配した際は，保管に気を付けること。

（３）海外旅行保険
必ず渡航日（住居から出発）から帰国日（住居に帰着）までをカバーする海外旅行傷害保険に加入すること。クレジットカード付帯の保険では，補償内容が十分でない場合があるため，別途加入すること。

（４）予防接種
厚生労働省検疫所ホームページや外務省海外安全ホームページ等を参考に，必要な予防接種を受けること。

（５）外務省海外旅行登録（たびレジ）登録
現地での危機管理情報の取得や緊急時の連絡のため，滞在先，滞在期間，渡航スケジュールが決定したら，外務省海外安全ホームページから，「たびレジ」に登録をすること。

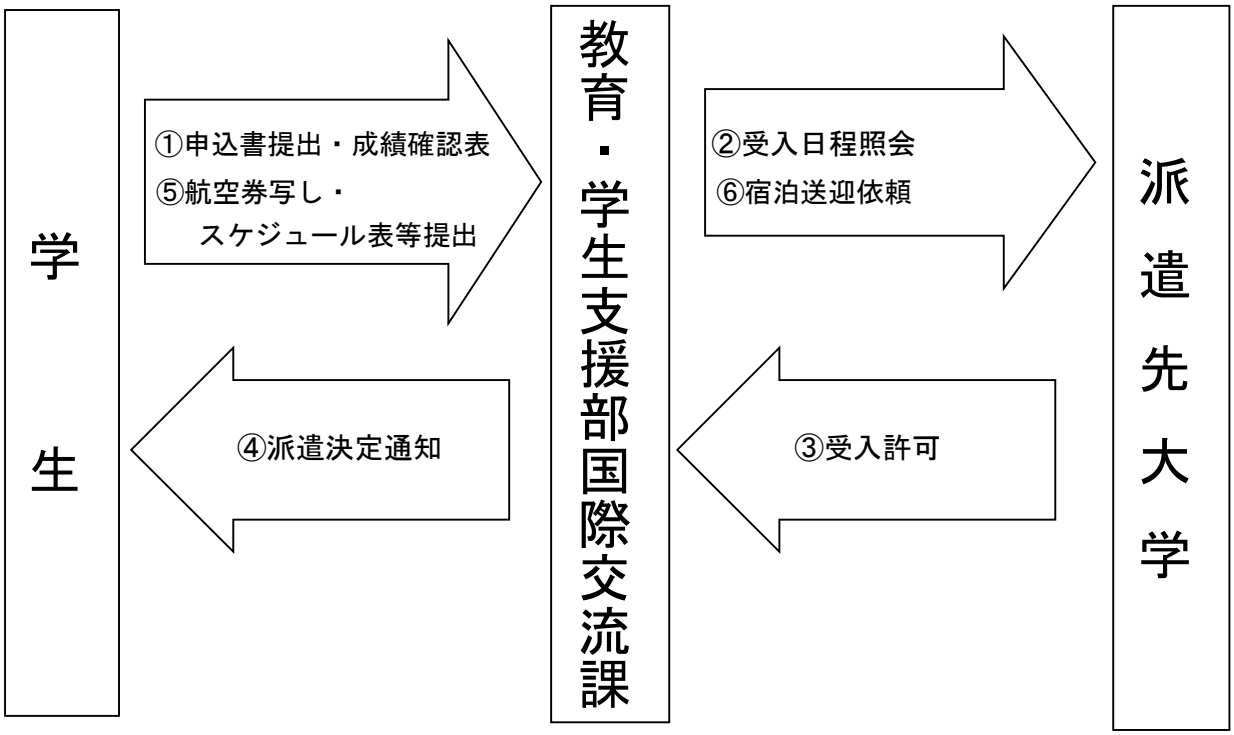
（６）海外渡航・留学届
海外渡航・留学届を所属学部等の学務担当に提出すること。医，工，農学部の一年次生については，小白川キャンパス事務部教務課基盤教育担当へ提出すること。

10. 注意事項

派遣の決定や日程調整に際し，教育・学生支援部国際交流課からメール又は電話により連絡する場合があるので，連絡を受信できるように設定をしておくこと。

教育・学生支援部国際交流課からの連絡に応答のない場合は，危機管理に問題があるため申請を取り消すものとする。

11. 申請から派遣までの主な流れ



12. その他

現地の情勢，状況の変化等により，希望した国及び期間の派遣が出来ない場合がある。

13. 申請書提出先

教育・学生支援部国際交流課
TEL: ０２３－６２８－４９２６
FAX: ０２３－６２８－４４９１
E-mail: rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ラトビア大学



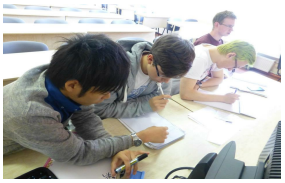
派遣先大学紹介

＊ここに記載の金額は，２週間滞在した場合の平均であり，為替変動や渡航時期等によっても変化するものである。
＊ビザ情報については，変更になる場合があるので，各国大使館ＨＰ等で最新の情報を確認すること。

大学名	**ベトナム国立農業大学** Vietnam National University of Agriculture 通称　VNUA 
国名	ベトナム社会主義国
都市	ハノイ
公用語	ベトナム語
ビザ情報	15 日以内の滞在であればビザ不要，パスポートの残存期限 6 ヶ月以上。（前回のベトナム出国から 30 日以上経過している場合） 16 日以上の滞在の場合または 30 日以内に２回入国する場合は**必要**となる
宿泊施設	大学構内の国際学生寮またはゲストハウス
費用の目安	航空券：　6 万円　～　11 万円 送迎費：　9 千円　～　1 万 2 千円（到着・出国日の往復） 宿泊費：　2 万円　～　3 万円（部屋のタイプによる） 滞在費：　3 万円　～　4 万円（上記の費用を除く食費・交遊費など）
治安・衛生等の現地状況	治安状況：人の多い観光地や混雑するバスの車内などでは，ひったくり・スリ・置き引きが頻発している。 シクロやバイクタクシーを利用し運転手から高額請求をされたという例が多く報告されている。 衛生状況：現在，深刻な感染症等の流行は報告されていない。6 月～11 月は雨季となり高温多湿となるため，食品の保存や体調管理(虫刺され対策等)にも注意が必要。 交通事情：自動車やバイクが通行区分や規制を無視して道路に溢れている状況のため，非常に危険。道路を横断する際は，現地の学生と共に行動すること。
特記事項	・平成 24 年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・本部前の池のほとりには，山形大学の記念樹が植えられている。 ・物価が安く，食事代は 1 食 80 円～300 円程度。
先輩からのメッセージ	・ベトナムに行って本当に良かったと思います。何よりベトナムで会ったみんなと楽しく 3 週間を過ごせたことが良かったです。迷っているなら，是非参加してほしいです！ ・オシャレなカフェもあり，ベトナム人学生の友達とよく行きました。今回で 2 回目となりますが，プライベートでも行きたいと思うくらいとても好きな国となりました。

大　学　名	**延辺大学** Yanbian University 
国　名	中華人民共和国
都　市	延吉市
公　用　語	中国語
ビ　ザ　情　報	16 日以上の滞在の場合は**必要**となる ビザ申請に係る招聘状は国際交流室から延辺大学へ依頼する。
宿　泊　施　設	大学構内の国際学生寮
費 用 の 目 安	航空券：　6 万円　～　14 万円 送迎費：　無料 宿泊費：　無料 滞在費：　3 万円　～　5 万円
治安・衛生等現　地　状　況	治安状況：繁華街，空港，レストラン，タクシー，バスや列車の車内において，スリや置き引きが頻発している。 衛生状況：現在，延吉市周辺での深刻な感染症等の流行は報告されていないが，中国国内では鳥インフルエンザによる死亡者が報告されている。家禽類との接触は避けるとともに，手洗いの徹底を心がけること。 交通事情：自動車との接触事故が多発している。また，中国では車は赤信号でも右折可能なため，歩行者信号が青でも注意すること。
特　記　事　項	・平成 26 年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・夜間はキャンパス内がライトアップされ，夜景がきれい。 ・日本語学科があり，３年生以上には日本留学経験を持つ学生が多い。 ・中国で最も多くの朝鮮族が居住する地域のため，市内のほとんどが漢字とハングルとの併記になっており，**中国語や中国文化**だけでなく**韓国語や韓国文化**に興味のある学生にもお勧めの大学。 ・全学向けの日本語クラスの他，日本語学科の学生のために実際に教壇に立って授業をする。 ・派遣時期は**９月と３月**のみ
先 輩 か ら の メ ッ セ ー ジ	・中国と聞くと，反日感情や大気汚染などネガティブなことばかり浮かんでしまうかもしれませんが，（延吉は空気もきれいで）実際に行くと本当に楽しいです。 ・一人で渡航したため不安はありましたが，現地の方々の気遣いや優しさを肌で感じ，渡航前の不安がなくなり，毎日を楽しく過ごせました。 ・多くの学生が日本に留学したいという目標を持っているため，少しでもそのサポートをすることができたのではないかと思う。何より延辺大学に多くの友達ができて，とてもうれしく思う。

大　学　名	**ジョモケニヤッタ農工大学** **（前期プログラムは中止）** Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology 通称　JKUAT（ジェイカット） 
国　名	ケニア共和国
都　市	ナイロビ
公　用　語	英語　国語はスワヒリ語
ビ　ザ　情　報	入国の際に**必要**となる
宿　泊　施　設	大学構内の国際学生寮・学生寮・ゲストハウス（空き状況による）
費用の目安	航空券：　18 万円　～　26 万円 送迎費：　4 千円　～　6 千円 宿泊費：　1 万円　～　2 万円 滞在費：　4 万円　～　6 万円
治安・衛生等現地状況	治安状況：ナイロビ中心街では窃盗や武装集団による強盗，麻薬に関する犯罪が横行している。ホテルや混雑した市内における置き引き，スリ，窃盗が日常的に発生している。2015 年ナイロビ市内において外国人や富裕層が多く利用するショッピングモールをターゲットとしたテロ事案が 2 件発生している。また，信号待ちの車を狙った強盗も頻発している。 衛生状況：インフラ整備が進んでいないところが多く，電力供給が不安定なこともあり，生鮮食料品の保存に問題が生じることもあるため，注意が必要。WHO により黄熱病予防接種の推奨地域に挙げられている。 交通事情：ウィンカーやヘッドライトが作動しないなどの整備状況の悪い車両も多く走行しており，道路状況も悪いことが多いため，歩道のない道を歩く際は，細心の注意が必要。
特　記　事　項	・平成 25 年度から山形大学生及び職員を派遣している。 ・国立公園などがあり，休日にはサファリを楽しむこともできる。
先輩からのメッセージ	・アフリカという山大生にとって未開の地に行けて，本当に良かったと思います。ナックル国立自然公園はとても美しく日本では見ることができない大地の恩恵を授かった気がしました。 ・まさか自分がアフリカ大陸に行くなんて思ってもいなかった！海外での異文化体験はすばらしいことだと再確認し，もっ　といろんな国や知らない世界をこの目で見てみたいと思いました。  

大　学　名	**ラトビア大学** Latvijas Univesitate 
国　名	ラトビア共和国
都　市	リガ
公　用　語	ラトビア語
ビ　ザ　情　報	シェンゲン協定実施国に入国した日から 90 日以内の滞在の場合は不要
宿　泊　施　設	国際学生寮
費用の目安	航空券：　10 万円　～　20 万円 送迎費：　3 千円　～　5 千円 宿泊費：１万 5 千円～　2 万円 滞在費：　5 万円　～　7 万円
治安・衛生等現地状況	治安状況：混雑した公共交通機関や観光地などの人混みにおけるスリや窃盗事件が多い。夏の観光シーズンは，旧市街地域や中央駅周辺において薬物利用者や酔っ払いの数が増加する傾向にあり，特に夜間の旧市街では酔っ払いによる突発的な傷害事件も報告されている。 衛生状況：リガは真冬には摂氏マイナス 30℃になることもあり湿度も下がるため，風邪などへの注意が必要。草原や森林地帯でダニ刺されることにより感染するダニ脳炎が風土病としてある。 交通事情：冬は雪や凍結により路面が滑りやすくなるため，転倒に注意が必要。また，自動車が道路の凹凸を避けるため予期せぬ動きをとることがあるので，歩道のない道を歩く際は注意が必要。
特　記　事　項	・リガの旧市街は街全体が UNESCO の世界文化遺産に登録されており，中世の古い石造りの街並みに触れることができる。 ・平成 26 年度から山形大学生及び職員を派遣している。 ・日本語教室には，現地大学生のほか近隣の中学・高校に通う学生や社会人，主婦など幅広い年齢層の受講生がいる。
先輩からのメッセージ	・初めての海外で非常に緊張していたが，現地の学生と仲良くなり，リガの綺麗な町を散策しているとずっとここにいたいと思うようになった。   ・ラトビアの学生さんは学習意欲が高く，純粋に「日本語」を学びたいという人が多いです。授業に来る学生さんの学習状況やニーズをふまえて，授業プランを考えることが大切だと感じました。

大　学　名	**ガジャマダ大学** Universitas Gadjah Mada 通称　UGM（ウゲム） 
国　名	インドネシア共和国
都　市	ジョグジャカルタ
公　用　語	インドネシア語
ビ　ザ　情　報	30 日間以内の観光目的の滞在に限り，**不要**。 パスポートの残存有効期限６ヶ月以上，ビザ欄空白ページが十分あることが必要。
宿　泊　施　設	大学構内ホテル（ツインルーム）
費用の目安	航空券：　9 万円　～　12 万円 送迎費：　600 円　～　1000 円 宿泊費：　4 万円　～　4 万 5 千円 滞在費：　4 万円　～　6 万円
治安・衛生等現地状況	治安状況：旅行者を狙ったスリやひったくりが増えている。 衛生状況：通年 27～28 度の高温多湿の熱帯気候であり，10 月～3 月は雨季となり高温多湿となるため，食品の保存や体調管理(虫刺され対策等)にも注意が必要。 交通事情：道路が未整備な上に通行量が多い。2 人乗りのバイクが多く，マナーや交通規則を無視した運転車も多いため，外を歩く時には細心の注意を払うこと。
特　記　事　項	・平成 26 年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・インドネシアのトップ大学。日本語力が非常に高い学生が多い。 ・農学部教員の中に，山形大学出身者もいる。 ・国民の 80%以上がイスラム教徒ということもあり，大学構内にもモスクが建てられている。 ・キャンパス内では服装について規定あり（襟付きのシャツ，長ズボン。ショートパンツ，ミニスカートは厳禁）。
先輩からのメッセージ	・みんなともて優しくしてくれたので，心配することは何もないと思います。本当に楽しい場所なので，不安に思うことなく過ごしてきてください。 ・日本語をとても上手に話せる学生も多く，英会話に自信がなくても楽しく過ごせます。 ・私は 2 週間を現地で過ごしましたが，2 週間はとても短く感じています。1 か月行けるのならば，1 か月行った方がいいです。 ・学生達は英語が堪能で，こちらの言いたいことを汲んでくれるので，恐れないでコミュニケーションを取ることが大切です。  

大　学　名	**新モンゴル学園** New Mongol Academy 通称　NMA 
国　名	モンゴル国
都　市	ウランバートル
公　用　語	モンゴル語（国家公用語），カザフ語
ビ　ザ　情　報	30 日以内の滞在の場合，出国する予約済みの航空券を持っていればビザは不要。 パスポートの残存有効期間：モンゴル到着時に 6 ヵ月以上あり，査証欄の余白が 2 ページ以上必要。
宿　泊　施　設	新モンゴル学園紹介施設
費用の目安	航空券：　6 万円　～　15 万円 送迎費：　500 円　～　1000 円 宿泊費：　2 万円　～　3 万円 滞在費：　4 万円　～　6 万円
治安・衛生等現地状況	治安状況：ひったくりや強盗事件が増えている。ザハ（市場）やバスの中など人が多い場所ではスリの被害も多い。 衛生状況：冬期の石炭暖房による市街地の大気汚染が課題となっている。飲料水はペットボトルのものを購入。 交通事情：ウランバートルでは自動車の数が一気に増えたのにともない，交通事故も増加している。
特　記　事　項	・平成 29 年度後期から山形大学生及び職員を派遣している。 ・生徒は主に日本語を勉強している中高生（13 歳～18 歳）。 ・一年を通して晴れることが多い。冬は特に晴れるが，最も寒くなる 12 月～2 月は，平均最低気温が－25℃程度になる。 ・チベット仏教，イスラム教の他，シャーマニズムを信仰する人も多い。 ・内履き持参、教室内ではジーンズ、カジュアル過ぎる服装は控えること。
先輩からのメッセージ	・想像していたより、遙かにたくさんのことを経験できた。 ・初めて授業を経験し、教員を目指す気持ちを新たにした。 ・ホームステイでは、朝夕手づくりの料理を出してくれた。また、何かあるごとに大丈夫かと聞いてくれて、何の不自由もなく過ごすことができた。モンゴル人の人柄も知れた。 ・広い大地にたくさんの家畜がいて、ゲルがある。教科書で見た光景が広がっていて感動した。  